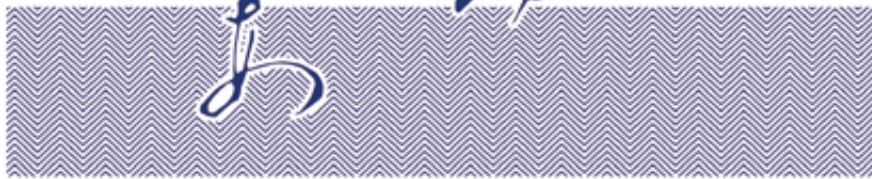


調査員だより

第175号 令和8年1月20日



編集発行

愛媛県企画振興部政策企画局
企画統計課
松山市若草町3番6号
NTTドコモソリューションズ松山ビル2階
TEL(089)912-2267

世界統計の日フォーラム2025 第73回全国統計大会 開催

2025年10月20日は、国連総会で定められた5年に1度の「世界統計の日」です。去る12月4日、「世界統計の日フォーラム2025」が開催され、国連統計部による基調講演や、国・自治体による統計・データ利活用に係る取組の紹介が行われました。

また11月19日には、我が国の統計及び統計制度の進歩発展と普及啓発に資することを目的に、第73回全国統計大会が開催され、「統計調査功績者」各省大臣表彰が行われました。

本県関係受賞者は次の方々です。愛媛県統計協会統計功労者表彰受賞者の皆様も一緒にご紹介いたします。(敬称は省略させていただきます。)

◇◇各省大臣表彰受賞者のご紹介◇◇ ～受賞おめでとうございます～

総務大臣表彰

◆労働力調査(調査員)

大森 圭子(松山市) 山本 起美(宇和島市)
黒河 恵子(西条市) 武方 可奈(西条市)

◆家計調査(調査員)

岡山 恵美(松山市)

◆各種統計調査(調査員)

越智 容子(西条市) 氏名非公表(今治市)

厚生労働大臣表彰

◆毎月勤労統計調査(調査員)

井関 恵子(宇和島市)

農林水産大臣表彰

◆2025年農林業センサス(指導員)

曾我部 公代(西条市) 藤田 昌子(四国中央市)
大野 栄子(久万高原町) 小倉 素子(久万高原町)

◆2025年農林業センサス(調査員)

田村 浩美(松山市) 馬越 誠(今治市)
山下 久美子(宇和島市) 榊井 しのぶ(八幡浜市)
矢野 一友(大洲市) 藤田 紘正(四国中央市)
曾我部 安喜(四国中央市) 近藤 智子(四国中央市)
紀伊野 和代(西予市) 小面 佳子(上島町)
木下 公昭(久万高原町) 阿部 かね子(伊方町)
廣瀬 恵子(愛南町)

◇◇令和7年度 愛媛県統計協会統計功労者表彰◇◇

岡山 恵美(松山市)
近藤 美紀(松山市)
氏名非公表(松山市)
馬越 誠(今治市)
白石 容子(今治市)
綿貫 孝子(今治市)
山下 清恵(宇和島市)
攝津 砂代(八幡浜市)
榊井 しのぶ(八幡浜市)
橋田 なつえ(新居浜市)

河上 清美(西条市)
黒瀬 かおり(西条市)
中山 ツユミ(西条市)
氏名非公表(大洲市)
大塚 亜紀(伊予市)
青木 純(四国中央市)
近藤 智子(四国中央市)
藤田 紘正(四国中央市)
真鍋 美貴(四国中央市)
三好 栄二(西予市)

高原 幸(東温市)
束村 公則(東温市)
畝 昌保(久万高原町)
小倉 素子(久万高原町)
梶家 和彦(久万高原町)
氏名非公表(松前町)
鎌田 和美(砥部町)
泉 みちよ(伊方町)
長野 千晶(伊方町)
岡本 謙二(鬼北町)



「令和8年社会生活基本調査」のお知らせ



令和8年10月20日を調査期日として、「令和8年社会生活基本調査」が実施されます。

社会生活基本調査は、1日の生活時間の配分や過去1年間の自由時間における主な活動について調査し、国民の社会生活の実態を明らかにすることを目的とする調査です。調査の結果は、仕事と生活の調和（ワーク・ライフ・バランス）の推進、男女共同参画社会の形成など、国民の豊かな社会生活に関する各種行政施策に欠かすことのできない重要な資料となります。

調査を正確に実施するためには、調査員の皆様のお力が欠かせません。今後、調査員の募集を予定していますので、是非ご協力をお願いいたします。

～調査の概要～

- 調査の期日 令和8年10月20日現在で調査します。ただし、生活時間の配分については、10月17日から25日までの9日間のうちの連続する2日間を調査します。
- 調査事項
調査票A
1日の生活時間の配分(指定された2日間・選択回答方式)、過去1年間における主な生活行動を調査します。
調査票B
1日の生活時間の配分(指定された2日間・自由回答方式)を調査します。
- 調査の対象 指定された調査区内にある世帯のうちから、無作為に選定された世帯の10歳以上の世帯員が対象となります。令和3年調査では、全国で約91,000世帯(愛媛県は、141調査区の1,692世帯)が対象となりました。
- 調査の流れ 総務省統計局－都道府県－指導員－調査員－調査世帯
- 調査方法 調査員が世帯ごとに調査票を配布し、世帯は調査票を調査員へ提出又はインターネットで回答します。
- 結果の公表 調査票Aに関する集計結果は令和9年9月末日までに、調査票Bに関する集計結果は令和9年12月末日までに公表される予定です。

～調査員の主なスケジュール～

- | | |
|--------------|--------------------|
| 令和8年8月頃 | 任命・調査員事務打合せ会への出席 |
| 令和8年9月頃 | 担当区域の確認、準備調査 |
| 令和8年10月～11月頃 | 調査票の配布・回収・検査、県への提出 |

※上記の概要、スケジュールは予定であり、変更の可能性があります。



調査員は市町を通じて募集予定です。募集状況については、県庁公式ホームページ等でもお知らせしますので、是非ご協力をお願いいたします。

あなたのページ



みんなのひろば

『人と関わる仕事の喜び』

大洲市

おのけいこ
小野 恵子

現役を退いて数年経った頃、以前の同僚がこの統計調査の仕事を勧めてくれました。当時、指導員をされていた方が現役時代の仕事で繋がりがあった方で、二つ返事で受けました。

一年目は、就業構造基本調査でした。調査区は、高齢の方が多く、ほとんどの方が気持ちよく調査に協力して下さいました。文字が霞んで見えないとの声に、了承を得て聞き取り調査をしました。中にはお話し好きの方がいたり、菜園を見せて下さったりと、初めての調査活動でしたが緊張もほぐれ、ホッとしたものです。

二年目は、住宅・土地統計調査でした。この調査では、まず、2月に調査区5地区をめぐり、廃屋・空き家等、住居の状況を確認して地図作成をしました。初めて足を踏み入れる地域も多く、資料の地図を見て、ワクワクしながら歩いた健康的な調査でした。近所の方が住人の有無を教えて下さったり、所々で車を駐車させて下さったり、人の温かさ感謝しました。

半年後の10月の本調査では、その中の一区が選択され、アパート、マンションが多く混在する住宅地区を担当しました。調査に対する考え方や生活時間帯も異なり、調査の趣旨を明確に伝える事ができず、また、計画的に訪問時間帯を組み切れず、協力を得られなかった世帯もありました。

三年目は、全国家計構造調査でした。9月から108世帯を回り、その中から無作為に抽出された順に12世帯に協力が得られるまで調査協力を依頼して回りました。2カ月間毎日、家計簿をつけてもらう調査ですが、特に働き盛りの世代の方には、「時間にゆとりがない。」と断られる方もあり、大変難しく感じました。

しかし、拒まれる方には、調査に協力できない理由をお尋ねし、気持ちに寄り添いながら粘り強く会話を繋げました。そのうち少しずつ打ち解け、調査の大変さにも気付いてくださり、「調査員さんに当たってもいいけんね。事情があるので自分で市に断りの電話をしておきます。」と穏やかな口調で話され、調査は引き受けてもらえなかったものの、お互いに理解し合えたことが嬉しかったです。

なかなか調査協力が得られない中、「家計簿

ならいつもつけているから、ついでに書きますよ。」「知り合いの頼みじゃ、断れんね。」「いいですよ。インターネットで回答します。」等々、調査に協力的な返答には救われ、調査活動の原動力となりました。

やっと調査に協力いただける12世帯が決まり、調査がスタートしました。家計簿をつけるのにお困りのことはないか、期間中2回ほど各世帯を訪問しました。12月初めに家計簿を受け取り、インターネット回答も揃い、調査が無事終了する頃には、皆様の努力に敬意が生まれ、感謝の気持ちを伝えました。

残暑厳しい時期に多くの世帯を訪問するのは、本当にきつかったです。無理をしてしまった事で、指導員や市の担当の方にご迷惑をおかけしました。調査に対する使命感は大事だけど、自己管理に努めて無理をせず、指導員や市の担当の方に相談するなど冷静に対応することも必要だと痛感しました。

四年目は、今年度実施された国勢調査でした。この調査は全国民が対象ですが、調査の内容も、インターネット回答でのスマートフォン操作も簡単になっていて、ありがたかったです。ほとんどの方が郵送やインターネット回答を希望されたので、調査票を回収に訪問する必要がなく、楽に感じました。調査区も私の実家の近所だったので、皆さん気さくに応じて下さり助かりました。また、新興住宅の方も留守宅の方は訪問メモを見て下さり、またご近所さんの協力も得て、全戸回答が揃いました。

最後に、統計調査に携わって思うことは、人と人との関わりの中で、毎回学ぶことが多いということです。難しく困難な懸案があっても、相手の立場になり、誠意をもって対応することで乗り越えられます。また、試行錯誤しながら一つ一つやり遂げた時の大きな達成感は、調査の大きなやりがいと私の自信に繋がっています。

統計調査を通じて、普段関わりのない若い世代の方々とふれあいがありました。多くの方から、ねぎらいの言葉や何気ない気遣いをいただき、心があたたかくなる出会いがいくつもありました。生きている喜びを実感できるこの仕事を、もう少し続けていきたいと思っています。

『調査員をして感じた思い』

砥部町

いし みず ゆき こ
石水 幸子

「国勢調査」、聞いた事はありませんでしたが、まさか自分が携わる事になるとは思っていませんでした。2015 年1月、「こういう調査員の仕事があるけどしてみない？」という、友人からの誘い。その時期は、パートで仕事もしていたし、娘が4才と6才、そんな私に出来る仕事か不安でした。主人に相談をすると、「せっかくだからしてみたら」と背中を押され、受ける事にしました。

9月に調査員説明会があり、分からない所は残って丁寧に教えて頂きました。調査員としての活動期間は、9月中旬から10月下旬までの約1カ月半でした。いくつかの仕事が「何日から何日までこの作業」と、期間を決められていたので、パートの合間に作業を進めることができ、娘との時間も確保しながら過ごした記憶が残っています。

このままやり遂げられるのか、不安で心配でした。でも、調査する地区が、私が生まれ育って住んでいた場所。顔見知りの方が多く安心しました。調査地区は集合住宅の為、世帯数がかなり多く、20ブロックに分けられたうち、私の担当は6ブロック。各ブロックの自治会の役員さんに「こんな調査を行うので協力宜しくお願いします。」とご挨拶に行きました。

まず、自分が調査する場所の地図作成、住居の確認。調査票の配布準備を行い、配布、回収。調査票は直接手渡しする必要があるのですが、何回訪問しても留守で渡すことが出来ない時は、指導員さんや役場の方に相談して対応して頂き、すごく助かりました。調査票を配布する際、知り合いの方々から、「あなたが担当なら出さないかんね。ちゃんと出すけんね。」と言ってもらった時は、「ありがたいなあ」と思えた瞬間でした。

国勢調査は、日本に住んでいる全ての方が対象です。インターネット回答か、用紙に記入して封入提出かを選んで回答していただきますが、留守も多く、回収に伺っても「はいはい。」と玄関を閉められた事もありました。

ご年配の方々には、「インターネットは難しいし、調査票は字が見辛くて記入方法がわからない」と言われることも多くありました。そのような場合は一つ一つ丁寧に質問を行い、一緒に調査票に記入することで回答して頂きました。

そんな中、ご年配の一人暮らしの方に「毎日、

会話をする相手もいなくて寂しかったから、お話できて楽しかった」と言って頂き、何気ない会話でしたが、私も嬉しくなりました。そんな言葉を励みに、約1カ月半の調査活動を無事に終える事ができました。

その後、いろんな統計調査員をさせていただき、2020年の国勢調査員もさせていただきました。しかし、新型コロナが流行し始めた最初の年だったため、マスク着用で直接面会ができない状況でした。一軒一軒インターホン越しに、首から下げた調査員証を見せて挨拶、調査の説明をし、調査票を郵便受けに入れて配布しなければなりませんでした。何度訪問しても留守の世帯へは、メモを残して調査票を郵便受けに。対面できない分、「本当に調査員なのか」と疑われた事もありました。それでも、前回のやりがいを思い出し、やりとげる事が出来ました。

集計結果は、国や地方自治体の行政施策などの基礎資料となります。全ての統計調査が全国の皆様の協力で成り立っていることに改めて気付く機会となりました。そんな大きな仕事に携われ、有り難い気持ちでいっぱいです。

2025年国勢調査では、指導員という立場で調査員さんのサポート役として、一緒に活動させていただきました。6人の調査員さん一人一人にお電話をし、「サポートさせていただきます。」と伝えさせてもらいました。私も当時、指導員さんからお電話をいただき、心強かったからです。

決して、順調ではありませんでしたが、周りの方々に助けてもらい、励ましてもらい、何よりこんな私でもお役に立てるようにご指導して頂いた役場の方々に感謝致します。もちろん、家族の応援も心の支えになりました。

約10年間、調査員、指導員としていろいろな統計調査の仕事をしていただいた経験は私の財産です。本当にありがとうございました。

2026年版えひめ県民手帳

えひめ県民手帳
公式Instagram

CHIME_KENMIN_TECHO